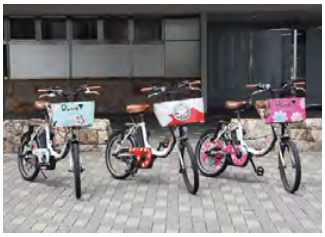
事例
08-2

観光利用（岡崎市）

岡崎市では2017年からHELLO CYCLINGの導入を通じて観光振興と地域活性化に積極的に取り組んでいます。岡崎市でのシェアサイクル展開にあたっては、特徴的な2つの施策があります。第一は、岡崎観光伝道師の人気YouTuber「東海オンエア」との連携です。岡崎市内には東海オンエアゆかりの地が多数あり、これらを巡る「聖地巡礼」は岡崎市の重要な観光コースとなっています。特に「東海オンエア号」と名付けられたシェアサイクル車両を使用した聖地巡礼は、シェアサイクルでの移動そのものが観光コンテンツとして機能している点で特徴的です。

第二の施策は「QURUWA戦略」との連携です。QURUWAとは乙川周辺のエリア愛称であり、岡崎城を含む多くの公共空間や地域コンテンツが集積する地域です。シェアサイクルの導入はこのエリアの回遊性を高める目的も持っており、岡崎市やまちづくり団体等との協議を通じてシェアサイクルの在り方検討が進められ、地域の回遊需要に応じたシェアサイクル展開が進められています。



これらの施策に加えて、岡崎市ではメンテナンス体制の整備にも力を入れています。岡崎市観光協会が運営事業者として参加し、地域のニーズに合わせた車両の効率的な再配置を積極的に行っています。このように利用者がいつでもシェアサイクルを手軽に利用できる環境が整っており、これが観光客の満足度向上と地域活性化に貢献しています。これらの取り組みにより、岡崎市のシェアサイクルは単なる交通手段ではなく、地域の魅力を再発見し体験を深めるための重要なツールとして機能しています。